TOKYO UNIVERSITY OF SCIENCE
1-3 KAGURAZAKA, SHINJUKU-KU,
TOKYO 162-8601, JAPAN
Phone: +81-3-3267-9462

2018 年 5 月

報道関係各位

東京理科大学 近代科学資料館　夏の企画展
100 回目の節目を迎える全国算数・数学教育研究 （東京）大会を記念して
「身近な数学」～数学教育の 100 年～を実施

東京理科大学

東京理科大学 近代科学資料館（新宿区神楽坂）は、来る 6 月 23 日（土）～8 月 10 日（金）（日・月・祝休館）まで、夏の企画展として「身近な数学」～数学教育の 100 年～を開催いたします。観覧時間は 10:00～16:00、入場料は無料となっています。

100 年前の日本では、世界で広まっていた数学教育改造運動を日本でもとりいれようとした時代でした。そのような中、日本中等教育数学会（日本数学教育学会の前身）が 1919 年に設立され、新しい数学教育の考え方を普及するために大きな役割を果たしてきました。

その全国算数・数学教育研究（東京）大会が 100 回目の節目を迎え、東京理科大学を中心に今年 8 月に行われます。

本企画展では、100 年前に「科学大衆化の意義」を説き、「科学の精神－少なくとも数学的な見方、考え方、取り扱い方－を広く行きわたらせたい」と日本中等教育数学会研究会で中心的役割を果たした数学者・文化史家の小倉金之助（東京物理学校　明治 38 年卒）が唱えた数学教育を紹介します。生活するためや製品を作り出す技術の基礎となる数学はどのように育まれるかについて議論されてきた歴史を紹介し、これからの私たちに必要な「数学教育」について考えて頂きます。

主要な展示は『江戸の数学 和算』、『明治生まれの数学者 小倉金之助の唱えた数学教育』、『数学教育の課題』、『身のまわりの現象の中の数学』の 4 つで構成され、数々の数学教育資料が展示されています。

「身近な数学」～数学教育の 100 年～開催概要は下記のとおりです。

1. 名　称：「身近な数学」～数学教育の 100 年～

2. 会期及び観覧時間：2018 年 6 月 23 日（土）～8 月 10 日（金）　休館：日・月・祝
10：00～16：00

3. 会場及び入場料：東京理科大学近代科学資料館　2Ｆ企画展示室
神楽坂キャンパス内　＊入館無料
東京都新宿区神楽坂 1-3　　電話：03-5228-8224
＜アクセス＞
ＪＲ「飯田橋」西口徒歩 5 分/地下鉄「飯田橋」B3 出口徒歩 3 分

4. 主　催：東京理科大学近代科学資料館　　http://www.tus.ac.jp/info/setubi/museum/

5. 展示内容と主要展示資料
(1) 江戸の数学　和算
１．江戸の数学者達によって愛用された和算の道具としての算木・算盤
２．和算書　塵劫記
(2) 明治生まれの数学者　小倉金之助の唱えた数学教育
翻訳書　カジョリ「初等数学史」1928（昭和 3）年発行
「数学教育史」1932（昭和 7）年発行
「数学教育の根本問題」1974（昭和 49）年発行
(3) 数学教育の課題
日本中等教育数学会の研究課題一覧
(4) 身のまわりの現象の中の数学
・ガチャ玉の確率・賢いエレベーター・家計の数学・数理生物学
・プラレールで数学しよう！

6. 関連イベント（詳細は当館ホームページをご覧ください）
6 月 26 日（火）　講演 13:00～14:30「小倉金之助の生涯とその時代」阿部博行先生
8 月 2 日（木）　全国算数・数学教育研究（東京）大会　創立百周年記念式典イベント
会場：東京ビックサイト
和算講座：「江戸時代初期の冬至の計算」
8 月 4 日（土）　和算を調べよう：高校生による和算研究発表

7. 展示協力
・茨城県立竜ケ崎第一高等学校　・お茶の水女子大学理系女性教育開発共同機構
・日本数学教育学会　・日本数学史学会　・早稲田大学図書館
・東京理科大学数学教育研究会

～報道関係者の皆様からのお問い合わせ～
東京理科大学　広報課　担当：三宅、甚田、中尾
TEL：03-5228-8107　FAX：03-3260-5823
E-mail：koho@admin.tus.ac.jp